

二日目

○野外研修II

「環境調査のいろいろ」

「場所」教育センター⇄摺上川

(徒歩による移動)

「内容」

研修者は校種別の班に分かれ、午前中は、センターから摺上川までの往復の間に、次の四つの研修を行います。

「河川の総合調査」

「自然放射線の測定」

「騒音の測定法」

「大気汚染調査」

○室内研修

「内容」

実験・実習コースと演習コースとに分かれて研修します。

実験・実習コースの班では、

研修者が自分の興味・関心に応じた内容を選択して行います。

「幸せって何ですか」

「プラスチックの性質とその再利用」

「放射線の性質調べ」

「野草を食材とした調理実習」

「「光害」を考える」

「天ぶら油の再利用」

「川を汚したのは誰」

「間伐材を利用した

簡単な木製品の製作」

演習コースの班では、「総合的



三日目

○研究協議

「環境教育の実践例、実践上の問題点」

「内容」はじめに、研修者三十七名(小

十五、中十三、高九)が校種を

交えた三つの班に分かれ、研修

者が事前に作成してきた環境教

育にかかわる協議資料をもと

に、発表や質疑応答、よりよい

指導の在り方などについての協

成」に取り組みます。

議を行います。

その後、全体で各班から報告

を受け、協議します。

○講義「環境教育の進め方」

「講師」郡山市立海老根小学校長

遠宮 新治 先生

三 研修者の感想より

環境教育への取り組みはまだ歴史も浅く、「なにをするのが環境教育なのか」「どのような内容を環境教育と考えてよいのか」といった基本的な疑問をもって研修に来られた方が多かったです。その中で、

- ・地域に根ざした環境教育の実践例を学ぶことができた(小)

- ・知識だけで実際にはできないでいた観察や調査、実験・実習ができた(中)

- ・校種の違う先生方との意見交換ができて視野が広がったように思う(高)

といった前向きな感想が多く寄せられました。また、「研修期日が学期末に近くて校務整理とのかねあいで困った」「天候にめぐまれず残念だった」といった意見もみられました。

四 おわりに

本講座では、担当者の反省、研修者の意見・要望等をもとに、参加される先生方のニーズに比べられる講座となるよう、今後一層、運営に工夫・改善を加えていくつもりです。